



白熱の闘いとなった体育祭！

5月29日（木）に令和7年度船穂中学校体育祭を実施しました。昨年は9月の実施でしたが、夏休みが明けても連日30度を超える真夏日が続き、熱中症を心配しながら、休み休み練習を行いました。しかし、今年は5月開催で練習期間は短かったものの、涼しい中で思い切り集中して練習に取り組み、実行委員や応援団が中心となって、生徒たちは素晴らしい体育祭をつくりあげました。紅組も白組も勝利を目指して一致団結し、最後までどちらが勝つかわからない手に汗握る展開となり、学級対抗種目や応援合戦、紅白対抗リレーも、観ている人たちを感動させる白熱の闘いが繰り広げられました。この体育祭を通して、生徒たちは、皆で力を合わせ、全力で取り組むと、これほどのことができるのだということを実感できたのではないかと思います。今回の頑張りを体育祭だけでなく、これからの行事や学校生活でも見せてくれることを期待します。ご多用の中、ご参観いただいたご来賓、保護者、地域の皆様、温かいご声援ありがとうございます。また、体育祭の運営に際し、ご協力いただいた皆様、深く感謝申し上げます。

校長 飯尾 一哉

体育祭を終えて

◆体育祭実行委員長 S・Mさん

体育祭お疲れ様です！みなさん、最高の思い出はつくれましたか。約1週間という短い練習期間の中、各クラス、全力で取り組んでいて良かったです。応援団のみなさん、練習中での多くの呼びかけ、指示出しありがとうございます。また、応援合戦に向けてたくさん話し合い、様々な意見を出し合ってくれたおかげで、元気ある応援ができました。次に実行委員のみなさん、全校練習や学年練習での司会進行ありがとうございます。実行委員のみなさんのおかげでスムーズに動かすことができました。そして、その他の係に入り、体育祭を支えてくれたみなさん、ありがとうございます。朝早くから集まり準備をしていたり、放課後に残って話し合ったりしているのを私は見ていました。ありがとうございます。また、困っていた時や指示が通らなかった時に支えてくださった、先生方、保護者のみなさま、ありがとうございます。最後になりましたが、この体育祭、一人一人がしっかり輝いて全力を出し切ったことで、とても素敵な体育祭にすることができました！この体育祭で生まれた絆を今後の学校生活や学校行事に、ぜひ、生かしてください。みなさん、本当にお疲れ様でした。

◆体育祭副実行委員長 K・Cさん

私はこの体育祭で実行委員という役割に立候補しました。理由は去年体育祭実行委員をやり、とても楽しかったのと自ら行動し体育祭をより良いものにしたいと思ったからです。実際私が体育祭にいい影響を与えたかどうかは確かではありませんが、とてもやりがいを感じ体育祭実行委員に立候補したことを後悔はしていません。私は最初みんなの前に立つことに不安を感じ、さらに副実行委員長として開会式で言葉を喋らなければならない、ということにプレッシャーを感じていました。自分の言葉がどういう影響を与えるのか、自分の言葉が本当に相手に届いてくれているのか、そんな事ばかり考えていました。しかし、本番ではみんなが真剣に話を聞いてくれたので安心し、不安がなくなりました。そしてそのおかげで体育祭を楽しもうという思いがより一層強くなりました。実行委員という経験は自分から行動することの大切さや、周りの人とのコミュニケーションと協力することの大切さ、人前に立つというのがどういうものか、そういったものが自分にとっての学びとなりました。中学校生活最後の体育祭として、とても楽しかったし、たくさんした後輩と関わって嬉しかったし、学ぶこともたくさんで思い出に残る充実した行事でした。実行委員として未熟な部分はたくさんあったと思いますが周りの方々の協力のお陰でとても良い体育祭になったと思います。ありがとうございます。

◆白組応援団長 F・Tさん

体育祭お疲れ様でした！白組の団長として迎えた中学生最後の体育祭。正直なところ、最初は「応援団長」という肩書に気持ちが追いついていませんでした。そんな私に、三浦先生が「もっとしっかりしろ」という一言。それは痛いほど胸に刺さりましたが、同時に、自分を本気で見てくれていると感じた瞬間でもありました。その日から、私は応援団長としての自覚を持ち、仲間

の先頭に立って声を出して練習を重ねました。とても短い練習期間の中、うまくいかず「自分はだめだな」と思った日もありましたが、仲間と支え合いながら過ごした時間は大切な思い出になりました。しかし、本番直前に足首を捻挫し、出場できないかもしれないという不安に襲われました。絶望しかけた私を支えてくれたのは、仲間たちの温かい言葉でした。「無理しないで。でも一緒に頑張ろう」その言葉に背中を押され、本番はテーピングをして出場できました。無事に大縄や綱引きに参加して1位を勝ち取ることができました！総合優勝は紅組に惜しくも取られてしまいましたが、応援合戦では白組が勝利することができました。みんなの声や動きが一つに重なり合ったあの瞬間は、今でも心に焼き付いています。最初は、動きも合わないし、指示出しも難しくして色々失敗してしまいましたが、諦めずにやり続けることで、結果は報われるという事がわかりました。支えてくださった先生方、保護者の皆様、そして白組のみんな、ありがとう！

◆白組応援団長 Y・Kさん

体育祭お疲れ様でした。体育祭を終えて、応援団長という重要な役割を任せていただけたことに、心から感謝しています。初めての経験で最初はたくさんの不安がありました。ですが、仲間たちの支えや全力で競技に挑む姿、そして応援に応えてくれる笑顔に何度も勇気をもらいました。応援団長として過ごした日々は、決して楽なことばかりではありませんでした。思うようにいかず悩んだこともありましたが、それでもこんな団長についてきてくれた仲間たちが何よりの支えでした。最初はバラバラだった応援も、何度も練習を重ねる中で少しずつ声が揃い、気持ちがひとつになっていくのを感じました。本番でのあの一体感は今でも忘れられません。白組は応援優勝とリレー優勝という成果を残すことができ、みんなの努力が結果につながったことを心から誇りに思います。総合優勝は紅組に譲る形となりましたが、全力でぶつかり合えたからこそ、お互いを称え合える体育祭になったのだと思います。中学校生活最後の体育祭でこんなに素敵な仲間と出会えたこと本当に幸せです。一緒に泣いて、笑って、励ましあった時間は私の宝物です。応援団長としてこのメンバーと一緒にやり遂げることができたこと、本当に誇りに思っています。最後に応援団として共に戦ってくれた仲間、全力を出し切った全てのクラス、そして支えてくださった先生方や保護者の皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

◆紅組応援団長 T・Yさん

体育祭お疲れ様でした。最初は自分は本当に応援団長になったという実感はわからず、あまりやる気が起こりませんでした。周りの人の助言や手助けがあったため急激にやる気が起き、紅組全員もやる気が起き白組に勝てるまで行きたかったけど去年の倍楽しく声も出ていた体育祭だと思います。何より自分が燃えたのは学年種目や徒競走を行っている最中での応援で、個人的には競技開始中の応援も応援合戦と並ぶくらい素晴らしいものになったと思います。改めまして応援優勝は白組に取られてしまったけど、これまでにないような熱く楽しい体育祭ができて良かったし、みんなが真剣に追いついてきたおかげでもあります。ありがとうございます。自分は1年生も応援団、2年生も応援団をやってきて、人を動かす難しさを知り、今年の応援団長では、みんなの前に出て沢山の人を引っ張る力と、説得力のある発言や考えが必要なんだと痛感しました。初めて大勢の人の前に立ってみてできないこともあったけど、そのたびにみんながサポートや指導してくれてありがとうございます。今年の体育祭で自分が最も盛り上がったのは、結果発表のときで、1年生の学年種目では紅組が勝ち、2年生の学年種目は、白組が勝ち3年生では白組が勝っていましたが、長縄やムカデ競走で紅組が追い上げて、結果発表ギリギリまで紅か白がどちらが勝つかわからなく、とても良かったです。紅組3150！！！！！！！！

◆紅組応援団長 S・Sさん

私は、初めて応援団長という大きな立場に立たせてもらいました。最初は応援団長としての自覚がなく、嫌々応援団長をやっているような状況でした。それでも、友達や先生が、雛羽じゃなきゃ駄目だよ！などと言ってくれました。白組の団長みたいに明るくて、面白い団長じゃなかったけど、それでも紅組の皆はついてきてくれました。一緒にやっている応援団の皆も大変な思いをしたと思います。それでも、辛い顔ひとつせず笑顔で皆やっていました。紅組は、最後の最後に振りを変えたり、隊形移動を変えたりと色々な事を変更しました。それでも、皆話をしっかり聞いてくれて、すぐには行動してくれて、私は応援団長やっていって、こんな素敵な仲間に出会えて、本当に良かったなと思いました。やる気がなかった応援団長の仕事も、周りの人の体育祭への思いや熱さを見てどんどん湧いていきました。結団式では、この結団式から勝負が決まると言われていました。「紅組はこのままで大丈夫？期待してるからね。」そう私に言った先生がいました。でも、やっていくうちに、これは期待をしてもらえているということなんだと思い、全力でやってやろうと決めました。最後に、「君が応援団長でよかったと皆が思える体育祭をありがとう」「団長、最高だったよ！カッコよかったよ！」など、いろいろな言葉をもらい、団長をやった本当に良かったなと思いました。本当にありがとうございました！最高の体育祭でした！（裏面へ）

◆体育祭実行委員　O・Kさん

僕は、体育祭で、実行委員をやらせてもらいました。実行委員の大変さは前から聞いていましたが、いざやってみると責任感もあり大変でした。計画段階では、わからないことがたくさんありましたが、自信を持ってできる限り確認しておけば、いざやるときに、協力してくれる生徒や応援団がいたので、彼らのおかげで、スムーズに進行することができました。百聞は一見にしかずとはこのことだと思いました。実行委員では、練習の段取りと練習時の指示を主にやりました。全体に指示をする時、みんなが集中して聞いてくれたときは、やりがいを感じました。応援団と連携して、指示をすることで、人数が補えるので、とても助かりました。感謝しています。指示を出すだけでなく、自らも動くことを意識してやることができたので、みんなから信頼される実行委員になれたと思います。やはり、実行委員の中でも、僕たちは三年生なので、やる気と根気を他のみんなに見せることも大事だと思い、実行に移せたことは誇りに思えるところです。中学校生活最後の体育祭で、競技でも、仕事でも、全力を出して取り組むことで、最高の体育祭、最高の思い出にすることができました。この経験を高校やその後の人生で活かせるよう、この思い出をみんなで振り返って楽しめるよう、しっかり記憶、記録していきたいと思います。改めて、この体育祭に協力してくれた人たちに多大なる感謝を送ります。ありがとうございました！

◆体育祭実行委員　T・Aさん

皆さん体育祭本当にお疲れ様でした。僕は体育祭実行委員という役割を担いました。僕は中1の頃にも体育祭実行委員をやったことがあります、あまり仕事を務めることができませんでした。そのため今回はしっかり仕事をこなしてみせる、という思いで体育祭実行委員の仕事をしました。実行委員は、学年、全校練習の運営、生徒への指示など誰かの前に出て仕事をすることが多くありました。今回はとても短い期間の体育祭練習で、生徒の皆さんに体育祭の流れや動きを教えなければいけませんでした。最初は、大丈夫かな？と不安な気持ちになりましたが、みんな話をしっかり聞いてくれたし、指示どおりに動いてくれて、とても嬉しかったです。また、体育祭が終わった後に、色々な生徒から「体育祭楽しかったね！」「いい戦いだったね！」という声が聞こえてきたことや、種目に切磋琢磨して取り組んでいるところを見て、この役割を担ってよかったなと思いました。この実行委員という役割を担って、人の前で指示をすることと、体育祭を運営する大変さを知りました。この経験を活かして、人の前に出る仕事を積極的にしてみたいなと思います。皆さんもぜひ来年体育祭実行委員になってみてください。きっと大変なこともあるかもしれませんが、その分達成感を味わうこともできると思います。楽しい体育祭をありがとうございました！！

